

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月15日

上場会社名 フリュー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6238 URL http://www.furyu.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田坂 吉朗
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部本部長 (氏名) 三嶋 隆 TEL 03 (5728) 1761
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	18,345	—	3,084	—	3,076	—	2,039	—
27年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,986百万円 (-%) 27年3月期第3四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	233.47	—
27年3月期第3四半期	—	—

(注) 1. 平成28年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期第2四半期の数値については、記載しておりません。
 2. 当社は、平成27年7月1日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	18,890	13,598	72.0
27年3月期	16,557	9,663	58.4

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 13,598百万円 27年3月期 9,663百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	26,510.00	26,510.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 当社は、平成27年7月1日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。平成27年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。
 3. 平成28年3月期の配当予想につきましては、未定としております。

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,082	0.7	3,343	10.2	3,308	0.9	2,163	13.3	242.71

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 平成27年7月1日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数（自己株式数を除く）により算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.3「サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	9,432,000株	27年3月期	8,700,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	一株	27年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	8,737,265株	27年3月期3Q	一株

- (注) 1. 当社は平成27年3月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、「期中平均株式数」を記載しておりません。
 2. 当社は、平成27年7月1日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年12月31日）におけるわが国の経済は、政府の経済政策、日本銀行の金融緩和と政策を背景に企業業績の改善や個人消費の回復基調が続いたものの、新興国の景気減速や原油価格の下落などにより、先行きは不透明な状況となっております。

このような環境において当社グループは、企業理念「人々のこころを豊かで幸せにする良質なエンタテインメントを創出する！」のもと、プリントシール事業の拡大、若年女性層の顧客基盤を活用したマネタイズの多様化、IP（知的財産）を軸としたキャラクタ価値の最大化に注力して参りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高18,345百万円、営業利益3,084百万円、経常利益3,076百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,039百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

（プリントシール事業）

プリントシール事業におきましては、主なターゲット層である10～20代前半女性に向けて、より自然で美しい肌と大きな目を表現する新機種「KATY（ケイティ）」を含む3機種を市場に投入し、いずれもプレイ回数が堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,529百万円、営業利益は882百万円となりました。

（コンテンツ・メディア事業）

コンテンツ・メディア事業におきましては、プリントシール画像取得・閲覧サービス「PiCTLINK（ピクトリンク）」の入会促進施策と継続利用促進施策が功を奏したことによって、有料会員数が159万人（平成27年3月末時点では155万人）へと増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,511百万円、営業利益は3,011百万円となりました。

（キャラクタ・マーチャンダイジング事業）

キャラクタ・マーチャンダイジング事業におきましては、アミューズメント施設向けのクレーンゲーム景品（プライズ）にて、ファンシー系のキャラクタやメディアミックス作品のキャラクタを中心に、売上を伸ばしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,528百万円、営業利益は518百万円となりました。

（ゲーム事業）

ゲーム事業におきましては、スマートフォン向けオリジナルゲーム「モン娘☆は～れむ」の配信が売上に寄与しました。しかしながら、新たに投入した家庭用ゲームソフトの販売が伸び悩みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,187百万円、営業損失は400百万円となりました。

（その他）

その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版事業等を行っております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は587百万円、営業利益は69百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が18,890百万円、負債が5,292百万円、純資産は13,598百万円となりました。また、自己資本比率は72.0%となりました。

（資産）

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,333百万円増加し、18,890百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加（前連結会計年度末比2,688百万円の増加）、電子記録債権の増加（前連結会計年度末比293百万円の増加）、流動資産その他（未収入金）の減少（前連結会計年度末比498百万円の減少）によるものであります。

（負債）

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,601百万円減少し、5,292百万円となりました。これは主に、流動負債その他（リース債務）の減少（前連結会計年度末比556百万円の減少）、支払手形及び買掛金の減少（前連結会計年度末比483百万円の減少）によるものであります。

（純資産）

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3,934百万円増加し、13,598百万円となりました。これは主に、新株発行による資本金及び資本剰余金の増加（前連結会計年度末比2,178百万円の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比1,809百万円の増加）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成27年12月18日公表の「東京証券取引所市場第一部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」に記載の予想を変更しておりません。

今後、当社グループ業績に影響を与える事象が発生した場合は、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更（企業統合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。

3. 四半期連結財務諸表

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,074,468	8,762,977
受取手形及び売掛金	3,713,672	3,492,751
電子記録債権	480,139	773,275
たな卸資産	1,349,371	1,507,193
その他	1,180,256	476,020
貸倒引当金	△12,756	△8,990
流動資産合計	12,785,152	15,003,228
固定資産		
有形固定資産	2,168,892	2,268,464
無形固定資産	197,297	201,592
投資その他の資産		
その他	1,427,278	1,435,578
貸倒引当金	△21,363	△18,044
投資その他の資産合計	1,405,914	1,417,533
固定資産合計	3,772,105	3,887,589
資産合計	16,557,257	18,890,817

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,279,528	796,449
電子記録債務	1,697,663	1,590,368
未払法人税等	391,242	430,005
賞与引当金	9,685	194,943
返品調整引当金	199,224	183,018
その他	2,696,436	1,424,617
流動負債合計	6,273,781	4,619,402
固定負債		
退職給付に係る負債	460,085	514,756
その他	159,753	158,273
固定負債合計	619,838	673,029
負債合計	6,893,620	5,292,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,000	1,639,216
資本剰余金	550,000	1,639,216
利益剰余金	8,514,064	10,323,276
株主資本合計	9,614,064	13,601,708
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	73,720	19,758
退職給付に係る調整累計額	△24,148	△23,082
その他の包括利益累計額合計	49,572	△3,323
純資産合計	9,663,636	13,598,385
負債純資産合計	16,557,257	18,890,817

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	18,345,635
売上原価	8,609,223
売上総利益	9,736,411
販売費及び一般管理費	6,651,485
営業利益	3,084,926
営業外収益	
為替差益	821
持分法による投資利益	9,403
償却債権取立益	14,637
その他	1,834
営業外収益合計	26,696
営業外費用	
支払利息	1,777
株式公開費用	32,626
その他	390
営業外費用合計	34,793
経常利益	3,076,829
特別損失	
固定資産除却損	3,950
減損損失	24,542
特別損失合計	28,492
税金等調整前四半期純利益	3,048,337
法人税等	1,008,487
四半期純利益	2,039,849
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,039,849

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	2,039,849
その他の包括利益	
繰延ヘッジ損益	△53,962
退職給付に係る調整額	1,066
その他の包括利益合計	△52,895
四半期包括利益	1,986,953
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,986,953
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年12月17日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,089,216千円増加しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,639,216千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	プリントシール事業	コンテンツ・メディア事業	キャラクタ・マーチャンダイジング事業	ゲーム事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	6,529,767	5,511,478	4,528,995	1,187,539	17,757,781
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	6,529,767	5,511,478	4,528,995	1,187,539	17,757,781
セグメント利益又は損失(△)	882,329	3,011,040	518,650	△400,887	4,011,132

(単位：千円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	587,854	18,345,635	-	18,345,635
セグメント間の内部売上高又は振替高	14,764	14,764	△14,764	-
計	602,618	18,360,399	△14,764	18,345,635
セグメント利益又は損失(△)	69,759	4,080,891	△995,964	3,084,926

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書籍の出版事業等を行っております。

2. セグメント利益の調整額△995,964千円には、セグメント間取引5,850千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,001,814千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。